



開会式では、大会実行委員会の高橋隆助委員長が「1万発の花火の大輪が白糠の夜空や海面を彩りますので、楽しんで白糠町の思い出の一つとしてほしい」とあいさつしました。



第9回 港inしらぬか花火大会 2023・8・19

しらぬか夏の風物詩



8月19日（土）、白糠漁港特設会場にて「港inしらぬか花火大会」（同実行委員会主催）が開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたステージイベントや屋台村は中止となりましたが、今年は盛大に開催。16時の開場とともに大勢の人が会場を訪れました。

会場には13店舗の屋台が並び、子ども縁日やホタテ焼きなどの海産物のほか、シカ肉やチーズ、串焼きなどが販売されました。17時からステージイベントとしてストリートダンスや紅白出場歌手の



石原詢子さん、細川たかし一門の彩青さん、白糠町出身の歌姫、喜多島麻鈴さんによる歌謡ショーが行われ、会場の雰囲気を盛り上げました。

その後、開会式が行われ、引き続き19時過ぎに花火が打ち上げられると、会場から大きな歓声があがりました。約1時間に渡って1万発の多様な花火が打ち上げられ、前半は霧で見えにくかった花火も後半ははっきりと見えるようになり、大勢の来場者を魅了。大スターマインでファイナーレを迎えると、大きな歓声と惜しみない拍手が送られました。

来場者は口々に「すこかったね」「きれいだったね」と言いながら笑顔で会場を後にしました。

